

理工学基礎実験レポート

実験日	1615 年 5 月 5 日（金）丑三つ時
実験題目	様々な食品におけるカフェイン

学科	考古学	クラス	Z	学籍番号	615xxxxx
報告者氏名	福沢 諭吉				

共同実験者	坂本 龍馬	大久保 利通
	西郷 隆盛	木戸 孝允
	小松 帶刀	大村 益次郎
	前原 一誠	岩倉 具視

レポート提出日	1615 年 5 月 7 日 12 時 12 分
再レポート提出日	

室温	12.4 °C
湿度	44 %
気圧	1000 hPa

1 目的

ねむみや無気力をごまかすため，人々はカフェインを求めることがある．どの食品を食べればいいだろう．

2 実験原理

2.1 カフェイン

カフェインの分子式はこんな感じである： $\text{C}_8\text{H}_{10}\text{N}_4\text{O}_2$

pandoc では \LaTeX の記法を文章中で使えるようである．化学式を書くために，この文章の最初で

header-includes:

```
- \usepackage[version=3]{mhchem}
```

と書いている．化学式を書かないならこの部分は不要．

2.1.1 カフェイン雑学

カフェインはフランス語では *caféine* とかく．

3 実験方法

- スーパーに行く
- いろいろ買う
- 飲む
- 体の変化を記述する

4 実験結果

表 1: たべものとねむみの関係

たべもの	カフェイン含有量	ねむみ
食パン	0	つよい
おかゆ	0	つよい
紅茶	1	つよめ
コーヒー	10	よわめ
魔剤	10000	なし

相互参照を使うために、`{#tbl:my_table}` というラベルをつけている。^{*1}

これをグラフに書くと、図. 1 のようになる。

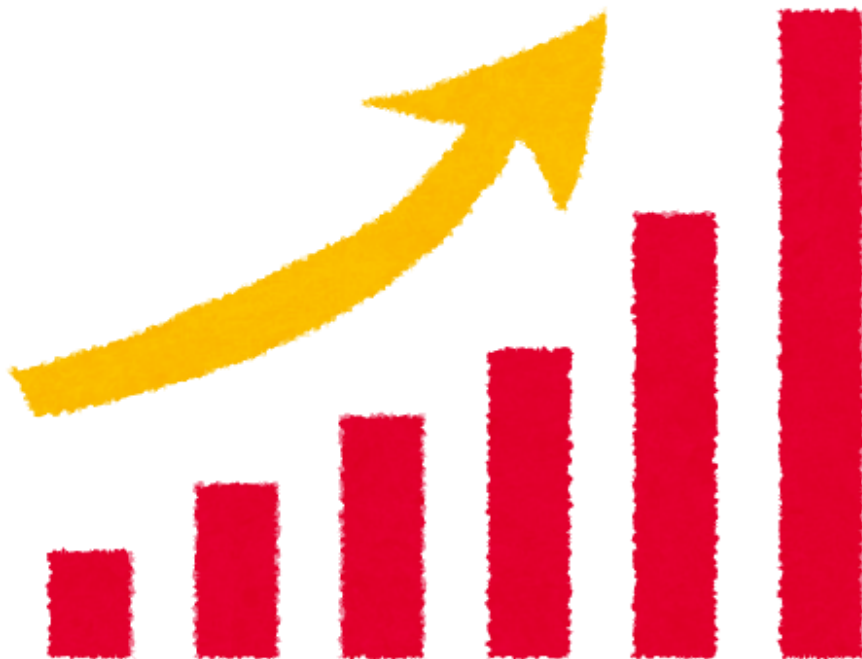


図 1: たべものとねむみの関係

5 考察

表. 1 はなるほどという感じだ。

図. 1 は一理ある。

カフェイン雑学は役に立たない。

$$\tanh x = \frac{e^x - e^{-x}}{e^x + e^{-x}} \quad (1)$$

式. 1 はこのレポートとは無関係だ。

6 結論

やはり魔剤だ。

^{*1} これは `pandoc-crossref` の機能

参考文献

- <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%A4%E3%83%B3>
- <https://www.monsterenergy.com/>